



各種天然系断熱材

ローハスな家づくり



キール郊外のエコビレッジは、ローハス派理想の住環境。オーブ池を囲む住宅棟は、万年草で緑化された屋根とエコ設備を備えている。

ローハススタイル

最近流行のローハス(ロハス)とは、健康を重視し持続可能な社会を志向するライフスタイルのこと。降って沸いたかのようなローハスブームを感じるのは、新しい価値観を求める人が増え、環境重視の生活をファッション感覚で楽しむ人達に受けいれられているからなのだろう。

『ローハス』はSOZAIJITENのコンセプトでもある『エコスタイル』と基本的ににも変わらない。正直どう使い分けるのか困ってしまうのだが、強引に区別するなら学問的・哲学的な『エコロジー』と商業的・ファッション的な『ローハス』とに分けてしまう。しかし健康と環境にリスクのかからない生活スタイルを求めるということは共通のテーマである。ローハスな家づくりを考えるならば、健康と環境に負荷をかけない持続可能な住まいを求め、そこで暮らす事が理想。お手本は環境先進国であるドイツのエコビレッジで見ることが出来る。自然を生かした敷地に緑化された屋根・ビオトープ池はエコビレッジのシンボルでもありエネルギー・水の浄化・汚水処理・健康な建材・安全な野菜畑・土の広場・集会場・保育園などを備えたビレッジには、住人達がコーポラティブ方式で建てた理想の住まいの姿がある。

エコロジーとバウビオロギー

ドイツでは環境問題を考えるエコロジーと、人の健康を考えるバウビオロギーとに分けて考えられている。エコロジーのテーマは、地球温暖化・地球資源の枯渇・森林破壊・自然環境・生態系の保護などの地球環境にかかわる問題であり、バウビオロギーのテーマは、室内の空気汚染・有害物質・ダニ・カビ・電磁波・アレルギー・過敏症などによる健康障害にかかわる問題である。

私達の住まいを考えるとき、地球環境に負担をかけない建築「自然と共生する住まい」を目指すのがエコロジー建築。肉体と精神に負担をかけない建築つまり「健康な住まい」を目指す建築がバウビオロギー建築と言われる分野である。日本で現在一般的に使われている「エコロジー建築」とは、この双方が一緒になったもので、どちらかと言えば環境に対する意識の強い考え方であるように思う。さて「ローハス建築」と言うと、やはり双方が一緒になっているが健康に対する意識が強いように思える。自分自身がいつまでも健康な生活を送り、自然に親しむことが出来ることを誰もが望んでいると思う。健康な住まいを追求することは、結果として環境にも配慮した家となる。自分のため、そして家族のためにも、まずは素材選びから始めてみてはいかがだろう。持続可能で身近な自然素材がおすすめだ。

健康な断熱材を選ぶ

断熱材は住宅を構成する素材の中で、構造材と共に大きな容積を占める。しかし目に見えない部位であるために価格が安く性能が良ければ何でも良いと思われているのではないだろうか。アスベストのように、数十年後になって人の健康に大きな負担を与え、撤去しようにも一歩間違えると環境汚染にもつながるような事があってはならない。将来的にも、大きな社会問題にまで発展することの無い、安全な断熱材の選択が不可欠なのだ。

ローハスな家づくりで断熱材を選ぶならば、製造から廃棄にかかるエネルギーコストや環境負荷を少なくし、施工者や居住者の健康に負荷をかけないような断熱材を選ぶべきだ。断熱材はスローな天然系の素材の中から選びたい。コルクを蒸気で圧縮した炭化コルクボード・木材の樹皮を固めたボード・亜麻などの植物繊維・古紙を再製したセルロースファイバー繊維・羊毛繊維などの断熱材は、ここ数年で輸入、国産を含めずいぶん品揃えが増えた。どれも自然素材が原料で、湿気を吸ったり吐いたりする呼吸性があるのが特徴。家全体が呼吸する理想の住まいを実現するためにも、自然素材の断熱材は健康を重視し、持続可能な住まいを求めるローハスな家には無くてはならない素材なのだ。

Ecology House

環境と健康を考えたエコロジー建築



資料請求番号

ハガキで資料を取り寄せられます。



自然素材で新築・リフォーム

エ / コ / ロ / ジ / ー / 建 / 築 / エ / 房

有限公司 一級建築士事務所

西條インテリアデザイン

本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581

伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139

ホームページ <http://www.saijo-d.com>



エコデザイナー
西條 正幸

1960年伊達市生まれ。札幌を中心にナチュラルスタイルの店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。自然素材にこだわった新築、リフォームの設計、施工会社「西條インテリアデザイン」代表取締役。エコスタイルショップ「素材自店」店主。

【写真左】

エネルギー供給源の天然ガスコージェネレーションシステムは電気と温水を作りだす。

【写真右】

生ゴミと排泄物を堆肥化するコンポストトイレは肥料として畑に活かされる。





各種天然系断熱材

ローハスな家づくり



キール郊外のエコビレッジは、ローハス派理想の住環境。オーブ池を囲む住宅棟は、万年草で緑化された屋根とエコ設備を備えている。

ローハススタイル

最近流行のローハス(ロハス)とは、健康を重視し持続可能な社会を志向するライフスタイルのこと。降って沸いたかのようなローハスブームを感じるのは、新しい価値観を求める人が増え、環境重視の生活をファッション感覚で楽しむ人達に受けいれられているからなのだろう。

『ローハス』はSOZAIJITENのコンセプトでもある『エコスタイル』と基本的ににも変わらない。正直どう使い分けるのか困ってしまうのだが、強引に区別するなら学問的・哲学的な『エコロジー』と商業的・ファッション的な『ローハス』とに分けてしまおう。しかし健康と環境にリスクのかからない生活スタイルを求めるということは共通のテーマである。ローハスな家づくりを考えるならば、健康と環境に負荷をかけない持続可能な住まいを求め、そこで暮らす事が理想。お手本は環境先進国であるドイツのエコビレッジで見ることが出来る。自然を生かした敷地に緑化された屋根・ビオトープ池はエコビレッジのシンボルでもありエネルギー・水の浄化・汚水処理・健康な建材・安全な野菜畑・土の広場・集会場・保育園などを備えたビレッジには、住人達がコーポラティブ方式で建てた理想の住まいの姿がある。

エコロジーとバウビオロギー

ドイツでは環境問題を考えるエコロジーと、人の健康を考えるバウビオロギーとに分けて考えられている。エコロジーのテーマは、地球温暖化・地球資源の枯渇・森林破壊・自然環境・生態系の保護などの地球環境にかかわる問題であり、バウビオロギーのテーマは、室内の空気汚染・有害物質・ダニ・カビ・電磁波・アレルギー・過敏症などによる健康障害にかかわる問題である。

私達の住まいを考えるとき、地球環境に負担をかけない建築「自然と共生する住まい」を目指すのがエコロジー建築。肉体と精神に負担をかけない建築つまり「健康な住まい」を目指す建築がバウビオロギー建築と言われる分野である。日本で現在一般的に使われている「エコロジー建築」とは、この双方が一緒になったもので、どちらかと言えば環境に対する意識の強い考え方であるように思う。さて「ローハス建築」と言うと、やはり双方が一緒になっているが健康に対する意識が強いように思える。自分自身がいつまでも健康な生活を送り、自然に親しむことが出来ることを誰もが望んでいると思う。健康な住まいを追求することは、結果として環境にも配慮した家となる。自分のため、そして家族のためにも、まずは素材選びから始めてみてはいかがだろう。持続可能で身近な自然素材がおすすめだ。

健康な断熱材を選ぶ

断熱材は住宅を構成する素材の中で、構造材と共に大きな容積を占める。しかし目に見えない部位であるために価格が安く性能が良ければ何でも良いと思われているのではないだろうか。アスベストのように、数十年後になって人の健康に大きな負担を与え、撤去しようにも一歩間違えると環境汚染にもつながるような事があってはならない。将来的にも、大きな社会問題にまで発展することの無い、安全な断熱材の選択が不可欠なのだ。

ローハスな家づくりで断熱材を選ぶならば、製造から廃棄にかかるエネルギーコストや環境負荷を少なくし、施工者や居住者の健康に負荷をかけないような断熱材を選ぶべきだ。断熱材はスローな天然系の素材の中から選びたい。コルクを蒸気で圧縮した炭化コルクボード・木材の樹皮を固めたボード・亜麻などの植物繊維・古紙を再製したセルロースファイバー繊維・羊毛繊維などの断熱材は、ここ数年で輸入、国産を含めずいぶん品揃えが増えた。どれも自然素材が原料で、湿気を吸ったり吐いたりする呼吸性があるのが特徴。家全体が呼吸する理想の住まいを実現するためにも、自然素材の断熱材は健康を重視し、持続可能な住まいを求めるローハスな家には無くてはならない素材なのだ。

Ecology House

環境と健康を考えたエコロジー建築



資料請求番号

ハガキで資料を取り寄せられます。



自然素材で新築・リフォーム

エ / コ / ロ / ジ / ー / 建 / 築 / エ / 房

有限公司 一級建築士事務所

西條インテリアデザイン

本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581

伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139

ホームページ <http://www.saijo-d.com>



エコデザイナー
西條 正幸

1960年伊達市生まれ。札幌を中心にナチュラルスタイルの店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。自然素材にこだわった新築、リフォームの設計、施工会社「西條インテリアデザイン」代表取締役。エコスタイルショップ「素材自店」店主。

【写真左】

エネルギー供給源の天然ガスコージェネレーションシステムは電気と温水を作りだす。

【写真右】

生ゴミと排泄物を堆肥化するコンポストトイレは肥料として畑に活かされる。